

第3回 多治見市下水道使用料審議会 会議録

- 日 時：平成24年7月9日（月） 13：30～14：35
- 場 所：多治見市池田下水処理場 管理棟1階展示室
- 参加者：出席者 井深委員、加藤委員、坂崎委員、内木委員、
中島委員、春田委員、美濃和委員、森委員
欠席者 小川委員
傍聴者 なし
事務局 磯村水道部長、中箆下水道課長、沖本浄化センター所長
伊藤、渡辺、小木曾
- 議 事
 - 1 審議会会長挨拶
 - 2 答申に関する審議
 - 3 その他

事務局	<p>(第3回下水道使用料審議会の開会の挨拶)</p> <p>施設見学、お疲れ様でした。</p> <p>審議に入る前に、事務局から報告をさせていただきたい事項があります。</p> <p>前回の審議会の中で、中島委員より、多治見市の経費回収率は県内で3番目なので値上げをする必要性に欠けているのではないか、というご意見がありました。</p> <p>このことにつきまして、少しお話をさせていただきます。あくまでも参考ですが、平成19年度から平成21年度の一般家庭における月20立米使用したときの使用料の全国平均です。19年度が2,840円、20年度が2,863円、21年度が2,884円ということで、いずれも2,800円代が平均です。経費回収率につきましては、19年度が77.3パーセント、20年度が82.3パーセント、21年度が84.5パーセントで徐々に上がってきております。これは、公営企業である下水道事業の性質を各事業者が反映してきている結果だと思えます。</p> <p>それでは、会長に引き継ぎをさせていただきたいと思えます。議事進行をよろしく申し上げます。</p> <p>(1 審議会会長挨拶)</p>
-----	--

森会長	<p>それでは、第3回目の審議会を開催したいと思います。本日は1名欠席しておりますが、委員の過半数が出席していますので、会議が成立していることを報告します。今日は第3回目ということで、予定では今回で審議を終了させていただきたいと思っています。市長への答申は、大口使用者における負担の格差の緩和など、前回までのご意見を参考にさせていただきたいと思いますが、その他ご意見やお気付きの点がありましたら、意見を入れさせていただきたいと思っています。何か、ご意見はありますでしょうか。</p>
春田委員	<p>資料の11ページに各市の状況の表がありますが、春日井市、瀬戸市、小牧市の基本料金や経費回収率が低いのはどうしてですか。</p>
事務局	<p>春日井市、瀬戸市、小牧市は多治見市に隣接していますので、参考として掲載しています。この三市の経費回収率が低い一つの理由としては、多治見市よりも春日井市や小牧市は大きいため、スケールメリットがありますので、その分、多くの収入があります。また、多治見市より東側の土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市の基本料金は、逆に多治見市よりも高い状況です。もう一つの理由としては、右から三列目の経費回収率をご覧ください。春日井市、瀬戸市、小牧市はいずれも51パーセント程度です。これは、汚水処理費の51パーセントを使用料で賄っているということがいえます。残りの49パーセントは、市から税金が繰り入れられているということがいえます。ちなみに、土岐市の経費回収率は66.8パーセント、恵那市は非常に高く96.9パーセント、瑞浪市は68.8パーセント、中津川市は少し低いですが47.5パーセントです。</p> <p>次に12ページをご覧ください。一般家庭における月20立米使用した場合の使用料です。春日井市は1,837円、瀬戸市は1,679円、小牧市は1,509円でいずれも低いですが、中津川市は3,150円、瑞浪市は3,360円、恵那市は3,620円、土岐市は3,150円でいずれも高いです。多治見市は、現行で2,362円、改定案でも2,572円です。春日井市、瀬戸市、小牧市が低い理由は、スケールメリットが大きいということと、多くの税金が繰り入れられていることが大きな理由ではないかと考えます。</p>
中島委員	<p>スケールメリットというのは、人口のスケールメリットということですか。</p>

事務局	そのとおりです。
美濃和委員	東京のような大きな都市のスケールメリットは大きいですか。
事務局	大都市のスケールメリットは大きいと思います。ただし、東京のような大都市は合流式を採用していますので、その分、少し経費がかかると思います。
森会長	その他、前回までのことも含めまして、ご質問はございませんか。
森会長	それでは、私のほうから一つだけお聞きします。前回の追加資料の２ページに維持管理費の明細がありますが、この中で、管渠維持管理費と一般管理費の人件費が終末処理場維持管理費の人件費よりも多いように思いますが、このことについて説明をお願いします。
事務局	<p>人件費につきましては、平成２２年度までは決算ベース、平成２３年度からは予算ベースで推計しております。市の会計のあり方として、予算と決算の両方を重視するようになっていきます。また、市役所には人事異動がありますので、現在配属されている職員が来年度も在籍する場合における人件費の見込みは比較的容易にできますが、人事異動に伴う人件費を予測するのは非常に困難なため、補正予算の必要がないように予算計上しますので、実績と比較すると高くなっています。</p> <p>平成２４年度の管渠維持管理費の人件費が平成２３年度と比較して低くなっている理由につきましては、職員数自体は変わっておりませんが、年齢によって給与水準が高くなりますので、人事異動に伴う配置換えによって人件費の増減があります。</p>
森会長	ありがとうございました。他にご意見はございませんか。
森会長	<p>(２ 答申に関する審議)</p> <p>それでは、ご意見もないようですので、今までのご意見をまとめますと、経費の節減と大口使用者の負担の格差の緩和を今後考えていただきたいというご意見がありましたが、これまでのご意見を勘案して、後日、審議会から市長へ答申書を提出する必要があるとございます。これから答申書の案を読み上げさせていただきたいと思いますので、これに追加、若し</p>

	<p>くは、ご意見があればお願いしたいと思います。</p> <p>答申書の案としては、二つの付帯意見を付けております。一つ目は、「経費節減に努め、経営の効率化を図られたい」。二つ目は、「今後における使用料改定においては、小口使用者と大口使用者の負担格差のさらなる緩和に留意されたい」という委員の皆さまからの二つの意見を付けさせていただいておりますが、この他に追加する意見はございませんでしょうか。</p>
森会長	<p>それでは、ただ今読み上げました2項目につきまして、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>(拍手をもって、承認)</p>
森会長	<p>ありがとうございます。それでは、この答申書につきましては、確認させていただきました内容で作成しまして、市長に提出をしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、3回に亘りご協力いただきありがとうございました。これを持ちまして、審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>(3 その他)</p> <p>第1回目と第2回目の審議会の議事録案を作成しました。これから配布をさせていただきますので、内容のご確認をお願いします。ご意見等がございましたら、事務局にご連絡をいただければ訂正をさせていただきます。第3回目の議事録につきましては、後日郵送させていただきます、ご確認をいただいた後にホームページに掲載させていただきたいと思っております。</p>
春田委員	<p>国庫補助というのは、申請をすれば無条件で出るものですか。</p>
事務局	<p>無条件では出ません。補助の要件に該当しなければ補助金は出ません。下水道事業の場合は、建設事業費に対して50パーセント、又は55パーセントの補助金があります。維持管理費については、補助金が出ないのが実状ですが、少しずつ維持管理費に対する補助金についても出てきております。</p>

事務局	<p>岐阜県内では、岐阜市が昭和時代に機械を更新するために補助を活用しました。その次に岐阜県内で多治見市が補助を活用しました。多治見市では早い時期から効率的に補助を活用して、少しでも市からの支出を減らす努力をしてきております。</p>
事務局	<p>今、第1回目と第2回目の議事録を確認していただいているところですが、修正箇所等がございましたら事務局までご連絡をいただきますようお願いいたします。第3回目の議事録につきましては、後ほど会長と相談をさせていただきます。内容を御確認いただいた上で公開をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>本日を持ちまして、審議会は終了となりますが、委員の皆さまにおかれましては、急なお願いにもかかわらず、委員をご快諾いただき、また、ご多用の中、会議の中では貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。</p> <p>改めて、会長から答申書をご提出していただくわけですが、答申書の提出をもって審議の終了、委員の任期終了とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>どうもありがとうございました。(事務局一同お礼)</p>

平成 年 月 日

会長